

全世界の闘う労働者人民と武装連帯し 10・21反帝国国際連帯闘争を闘おう

戦争法粉碎 安保粉砕 朝鮮・中東反革命戦争粉砕
自衛隊・米軍Ⅱ帝国主義軍隊解体 習志野基地解体の反軍・反基地闘争を強化しよう 辺野古Ⅱ沖縄・名護新基地建設阻止 オスプレイの強行配備・訓練を許すな
差別・排外主義攻撃粉砕 右翼ファシスト撃滅
川内原発再稼働弾劾 全原発を廃炉へ 日帝の核武装阻止
市東氏農地強奪阻止 三里塚(成田)空港廃港
戦争・ファシズムⅠ改憲に突撃する安倍連合政府を打倒しよう

千葉 県 労働者 会議

全日本学生自治会総連合(伍代委員長)

東京都杉並区下高井戸1・34・9

TEL 03・33329・0165(0168)

全ての労働者・被差別大衆・学生の皆さん

一九六〇年代ベトナム反戦闘争以来、十・二一反帝国国際連帯闘争が闘われてきました。全世界的な恐慌の深まりの中、戦争法を強行し、戦争・ファシズムⅠ改憲に突撃する安倍連合政府打倒にむけ闘おう。

★全世界の闘う労働者人民と連帯しよう

世界的な恐慌の深まりは、ギリシャ経済の破綻、中国経済の大ブレーキに象徴されるように、全世界的規模に拡大・深化するまでに至っている。

恐慌は資本主義(生産様式)の根本的矛盾の爆発であり、歴史的にも、現在のにも大量の人民虐殺とおびただしい破壊Ⅱ戦争によって突破しようとしてきた。虐殺と破壊を永遠に繰り返す資本主義の延命か、それとも労働者階級が政治支配する社会の到来かをめぐる階級的激突が開始されている。

この中で「殺されてたまるか」と全世界で闘いが爆発している。ギリシャではゼネスト・街頭実力闘争を再び開始し、中東革命の震源地Ⅱパレスチナでは度重なるイスラエル・シオニストによる人民虐殺に対する報復・反撃戦が闘われている。南朝鮮労働者人民は、工場閉鎖や首切り、労働法制改悪に対し、ストと街頭実力闘争を激烈に闘っている。

打倒すべきはこのような飢餓・虐殺・貧困を強いるブルジョア国家と資本制生産様式である。国境を越えて連帯し、戦争・ファシズムⅠ改憲に突撃する安倍連合政府を打倒しよう。

★習志野基地解体 自衛隊・米軍 Ⅱ帝国主義軍隊解体の反軍 反基地闘争を強化しよう

本日、われわれ千葉県労働者会議・全学連は、朝鮮反革命戦争粉砕、自衛隊解体・基地解体の闘いを習志野基地正門前に登場し断固として闘い抜いた。

習志野駐屯地は、陸自中央即応集団指揮下の精鋭部隊である第一空挺団や特殊作戦群を置く「首都治安」を任務とする基地だ。また隣接する空自習志野基地には「ミサイル防衛」と称して地对空誘導弾パトリオット(PAC3)が配備されている。

そして今年8月、沖縄東方沖で「強襲制圧作戦」訓練中の米軍ヘリが墜落し、米陸軍特殊部隊員とともに、習志野駐屯地所属の陸自特殊部隊員2名が負傷している。このように「集団的自衛権」行使が、戦争法成立に先行して進められている実態が明らかになった。

また、習志野基地では、三里塚の岩山大鉄塔や団結小屋撤去・破壊の訓練も行われてきた。関東大震災時は、前身である陸軍習志野連隊の騎馬兵がいち早く首都に出動し、亀戸周辺での朝鮮人虐殺の引き金を引き、「保護」と称して三千人以上の朝鮮人を基地内の収容所に連行し、「反抗的」とみなした者を周辺住民に引き渡し虐殺させた。

まさに許すことができない人民虐殺軍、「治安維持」部隊の枢軸基地であり、何としても

解体しなければならぬ。

沖縄労働者人民は、辺野古Ⅱ沖縄・名護新基地建設阻止を、権力の弾圧やファシストの襲撃を許さず、身体を張って闘っている。この闘いは再度の沖縄戦を許さない闘いであり、日帝国家権力の沖縄差別の強制を許さない闘いです。日帝・安倍は「中国脅威」論を扇動しながら、日本版「海兵隊」の新設を打ち出した陸自をはじめ、空自・海自が奄美・沖縄島・宮古島・石

★戦争・ファシズムへ改憲に更に突撃する安倍連合政府を打倒しよう

巨万の労働者人民が国会前で、全国で連日連夜、戦争反対に実力で立ち上がった。これに恐怖した安倍と国家権力は、機動隊の暴力と弾圧、「鉄柵」で闘いを圧殺せんとする中で、九月十九日未明、安倍連合政府は参院本会議で一連の戦争法案（安保法案）の採決を強行した。絶対許さない。

戦争法は、現行憲法一とりわけ第九条を全面否定し、「集団的自衛権」行使を規定し、全世界で「後方支援」という名の米軍との共同作戦を規定し、自衛隊の武器使用一戦闘行動を拡大し、「集団的自衛権」「個別的自衛権」を貫いて自衛隊の出勤を一気に拡大させる。すでに南スーダンPKOの部隊に「駆けつけ警護」を追加しようとしている。

反革命戦争とファシズムへの決定的な一歩を踏み出した安倍連合政府を打倒しよう。戦争法の執行を阻止し、戦争突撃そのものを粉碎する実力・武装の闘いに決起しよう。

安倍は戦争法の成立の次に、自らの「悲願」として、天皇を元首とし、自衛隊を「国防軍」（＝天皇の軍隊）に改める改憲に突き進むようとしている。軍法会議を設置し、米軍・自衛隊合同で対北朝鮮・対中国戦争にふ

★市東氏農地強奪阻止 三里塚（成田）空港廃港を

最大の戦場は三里塚闘争（成田空港反対闘争）である。日本階級闘争の最強の戦場的拠点Ⅱ三里塚では市東氏農地を力づくで奪い取る六・一二控訴棄却判決を東京高裁小林は打ち下ろした。「農地を明け渡せ」というのは、死刑宣告と同じだ。最高裁をひっくり返すような闘いをあらためてやりたい」と腹の底からの怒りで言い切る市東氏と共に、実力闘争・武装闘争で農地強奪阻止、空港廃港を戦取しよう。戦争法の成立をうけ

★虐殺煽動する右翼ファシストを先制的に撃滅しよう

ファシスト団体「日本会議」所属の議員を大多数閣僚に据えた安倍連合政府のもとで、自衛隊や警察などの軍事的官僚機構内でファシストが要職をしめ、安倍や維新の会橋下などファシストは侵略戦争を賛美し、南京大虐殺、「軍隊慰安婦」、「集団自決」を「自虐史観」と攻撃している。「安倍七十年談話」に見られるように、侵略戦争・植民地支配を居直り、「謝罪」を拒否したな

垣島・与那国島に大規模な派兵を強行しようとしている。これに対しても、沖縄労働者人民は断固闘い抜いている。この闘いと結びつき共に闘いぬこう。

習志野をはじめとする沖縄・佐世保・日本原・横須賀・座間・北富士・朝霞・練馬など全国の基地に対する反軍・反基地闘争を共に闘おう。自衛隊員には「出兵を拒否しろ。労働者人民に武器を向けるな。上官・支配者階級に向けよう」と呼びかけを強化しよう。

み出すことを展望している。直接には、対北朝鮮戦争行動、釣魚台（日帝呼称尖閣諸島）や独島（日帝呼称竹島）の領有権を口実とした中国軍、北朝鮮軍との軍事衝突を具体的に想定した軍事行動に踏み込もうとしている。

自民党改憲案では、天皇元首化、および自衛隊の「国防軍」化と治安条項（「緊急事態」＝戒厳令攻撃と基本的人権の否定Ⅱ「公益及び公の秩序を害することを目的とした」結社の非合法化）に、その反革命的性格が凝縮して表現されている。

安倍は、被災労働者人民は「被曝と汚染水の中で死ぬ」と一切の矛盾を押しつけながら、原発を輸出し、川内原発再稼働を皮切りに、次々と原発再稼働を強行しながら、核武装に突撃しようとしています。農業破壊・農民殺しのTPP（環太平洋経済連携協定）を締結し、消費税増税と法人税の切り下げ、その上、派遣法改悪に続き、「解雇の金銭和解」や残業代ゼロ法案など、労働者をいつでも首を切れ、低賃金とただ働きを強制できる「経営環境」をつくることである。労働者への極限的な搾取・隷属支配の攻撃である。このような安倍連合政府は打倒あるのみである。

て、三里塚空港の軍事使用を射程に入れた「第三滑走路」建設が地元ブルジョアどもや脱落派によつて推進され、ファシストが権力に誘導されて、反対同盟に対するテロルを扇動している。

これらの攻撃を粉微塵に粉碎し、十・一一三里塚全国集会をもって臨戦態勢をさらに強化し、さし迫る市東氏農地強奪阻止の決戦戦闘にともに総決起しよう。

かで、民間ファシストが益々活性化している。

「在特会」による在日朝鮮人への襲撃・排撃、「下総政神党」などの反対同盟へのテロルの扇動、また「日思会」が沖縄・辺野古新基地建設阻止のテントを襲撃するなど、白色テロに手を染めてきている。これに対し断固報復し、ファシスト撃滅戦を闘おう。